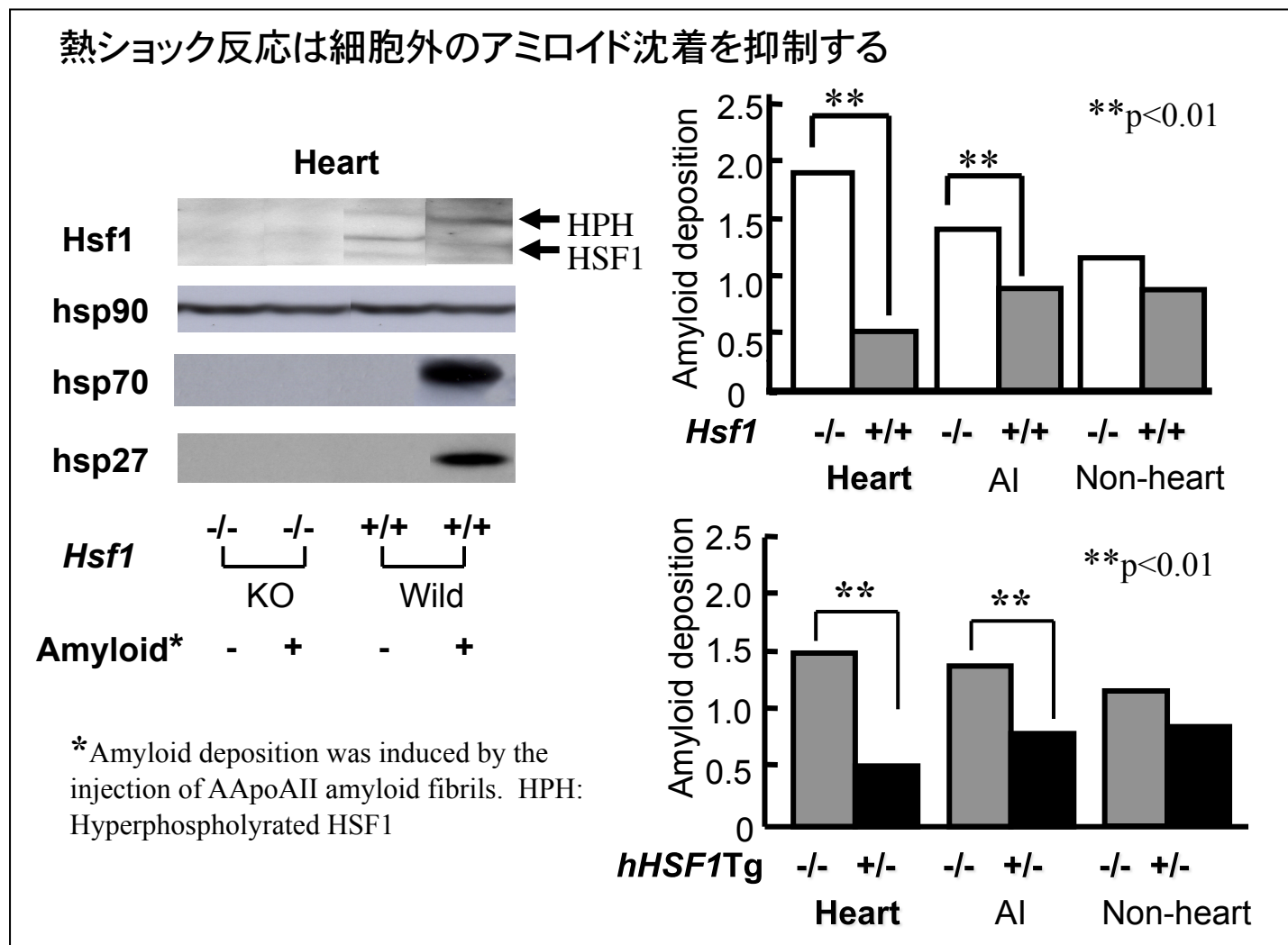


細胞外アミロイド沈着は熱ショック反応によって調節される

研究分担者：信州大学医学系研究科加齢生物 樋口京一



解説

1. マウス老化アミロイドーシスは血液中のapoA-IIがアミロイド線維を形成し細胞外に沈着する伝播性アミロイドーシスである。(AApoAIIアミロイドーシス)
2. 心臓へのAApoAII沈着は熱ショック反応を誘発し熱ショックタンパク質 (Hsp)の発現が上昇することを発見した。
3. 熱ストレス反応転写因子(HSF1)のノックアウトマウスではアミロイド沈着が促進され、HSF1過剰発現マウスでは抑制された。
4. Hsp発現誘発剤がアミロイドーシスの治療に有効であることを示唆する。